

岩手医科大学附属病院における HIV 針刺し・粘膜曝露への対応に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2019 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに岩手医科大学附属病院の院内において発生した針刺し・粘膜曝露事故の事例で、血液腫瘍内科で事故後の HIV 感染予防の対応を行なった者、曝露源の患者様、入院加療中の HIV 感染症の患者様

2. 研究期間

研究実施許可後～2027 年 03 月 31 日まで

3. 研究目的・方法

本研究では岩手医科大学附属病院での「針刺し・粘膜曝露への対応における HIV 感染対策の実態」を後方視的に検討して、有効性と安全性を向上する因子を探索して検証することと目的とします。具体的には 2019 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに岩手医科大学附属病院の院内において発生した針刺し・粘膜曝露事故の事例で、血液腫瘍内科で事故後の HIV 感染予防の対応を行なった者、曝露源の患者様、また入院加療中の HIV 感染症の患者様を研究対象としています。研究内容の情報公開を行なった上で、研究対象者を登録し、診療記録から情報を抽出して、個人を特定できるような情報は取り除いた上で、「針刺し・粘膜曝露後の HIV 感染対策」の実態を検証します。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：針刺し・粘膜曝露者および曝露源の患者様の病歴、診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査（血算、末梢血液像、生化学検査、CRP 値、凝固機能検査）、抗体検査（HIV 抗体、HBV 抗体、HCV 抗体）。針刺し・粘膜曝露における状況、診察所見、抗 HIV 薬の予防内服の状況、治療内容、本学職員であれば職種と所属部署、本学学生であれば在籍学部と学年、等。病院全体における HIV 患者の入院状況（入院治療の理由、治療内容、HIV ウイルス量、CD4+リンパ球数、抗ウイルス療法の内容）。本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から 5 年／結果公表日から 3 年（いずれか遅い日）保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性はありません。

5. 研究費および利益相反

研究費は内科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

研究責任者：小宅 達郎（おやけ たつお）
岩手医科大学附属病院 血液腫瘍内科
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1-1
電話：019-613-7111 （内線）6401